

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 1 2 期 だい 1 年 だい 2 回 だい 2 日
(第12期 第1年 第2回 第2日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2018(平成30)年9月2日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23人

アリ ファズラット シャローン、ウエーヴィタ プラディーバ ラクマル、
ウラコワ マハバット、ウル エリック ファーリイ、大越 ミュートン
トミオ、金 海花、児玉 ノンティシャー、ゴタメ アディカリ アニタ、許
成龍、蔣 香梅、シロコラデユク イリヤ、鈴木 ミリアム、スタント
イルワン、崔 敬心、チョ チョ カイン、寺田 ヘザー、バテネフ
アルチョム、ポール ウツザル クマル、ボソ ロドリゲス ミゲル アンヘル、
前田 喜与美、ラサル ジュリエン、ロペス ハイロ、ロマンダ デイビッド

(2) 事務局

あさぬま たんとう かつちよう おぎた かつちよう ほさ とよだ たんとう かつちちよう そのもと しゅにん くさかべ
浅沼 担当課長、荻田 課長 補佐、豊田 担当係長、榎本 主任、日下部
しよくいん たかほし せんもんちゆうさいいん
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 2人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2018年度第2回第2日を開催する。今日は劉委員、アニータ委員、トラン委員から欠席の連絡が届いている。まず、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局豊田担当係長が説明)

スタント委員長「続いて、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、議事に入る。まずはオープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、まずは今日の実行委員会で出た意見の報告をお願いします。」

前田副委員長「実行委員会では、タイムスケジュールに関しては、例年どおりでよいのでは、となった。メインプログラムはグループディスカッションがよいのではないか、という意見が多く出た。グループディスカッションのテーマに関しては、やはり参加者から課題を聞くことが重要という意見が多かった。」

スタント委員長「では、順番に審議して決めていきたい。まず、タイムスケジュールについては案にあるように例年どおりということでよいか。何か質問や意見はあるか。(なし)では、決をとる。タイムスケジュールは、例年どおりということで賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)次に、メインプログラムについてだが、まずは前半と後半に分けるということについて、意見はあるか。(なし)では、決をとる。メインプログラムを前半と後半に分けることに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)次は、メインプログラムの前半の方法についてだ。資料には案として、グループディスカッション、ワークショップ、その他とある。何か意見はあるか。(なし)では、決をとる。グループディスカッションに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、残りの時間でテーマについて話したい。何か意見はあるか。」

鈴木委員「テーマではないが、外国人にたくさん来てもらうために『やさしい日本語』を使うのがよいと思う。」

スタント委員長「ゲストについてはどうか。」

児玉委員「ゲストのリストはあるか。」

バテネフ委員「オープン会議のゴールについてまったく話していないので、いきなりテーマを出して欲しいと言われても難しい。まずは、オープン会議の目的を確認して、はっきりさせるのがよいと思う。」

事務局高橋専門調査員「少し状況を整理したい。まず、ゲストについてのリストはない。みなさんからのリクエストをもとに事務局が打診する。次に、オープン会議のゴール、目的についてだが、1年目と2年目では違う。例年、2年目はみなさんの提言案について意見をもらっている。それに対して、1年目は26人の代表者以外の人たちから会議で取り上げて欲しいテーマやアイデアを出してもらうのがよいと思う。よいテーマやアイデアがあれば、今後の審議に反映させることができる。」

ウラコワ委員「今の説明を聞いて、オープン会議の意味がよくわかった。つまり、私たちだけではなくて、代表者以外の人たちにもいろんな意見を言ってもらって、どういうことが今、川崎に住んでいる外国人市民の問題、課題になっているのかということを探ることが1年目の目的なのだと思う。個人的には、外国人の子どもたちが自分の文化や言葉を日本社会の中でどうやって生かしていくのかということが課題だと感じている。あとは、外国人の就労に関心がある。自分が働きたいと思うところで働けるようになるためには、どうすればよいかということについて意見を聞きたい。」

アリ委員「女性の社会参加について話したい。」

バテネフ委員「具体的なテーマではないが、考え方として現実と想定を分けた方がよいと思う。想定で話すのではなく、具体的な課題や困ったことなどを集めるところから始めるのがよいと思う。」

ウェーヴェイタ委員「どちらかという日本人の参加者の方が多いということだったので、外国人が地域社会で孤立しないようにするのはどうしたらよいか、ということと一緒に考えられればと思う。」

許委員「参加者の人たちに代表者会議にやって欲しいことや期待していることを聞くのはどうだろうか。」

寺田委員「やって欲しくても、川崎市にはできないこともあると思う。」

スタント委員長「そろそろ時間なので、次の議事に進みたい。次は部会の設置についてだ。まずは事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)今日は、少なくとも審議テーマを絞るところまでは行きたい。まず、部会の数についてだが、案のとおり2つということではどうか。賛成の人は手を挙げてください。(22人)次に、審議テーマの数についてだが、案としては6つとなっているが何か意見はあるか。(なし)では、決をとる。審議テーマの数は6つで賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、テーマの数が決まったので、実際にテーマを絞る作業に入りたい。まずは、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3-1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。」

寺田委員「情報発信の取組でSNSやメールなどはやっているのか。」

事務局高橋専門調査員「提言を受けた取組としては、やっていない。なぜなら、これまでの提言の意図は、情報は人から直接伝えて欲しいということを重要視してきたからだ。」

ウェーヴィタ委員「提言を考えるうえで大切なことが書かれているが、この中のふさわしいもの、ふさわしくないもの、というのはどうやって判断するのか。」

スタント委員長「これは、私たちが審議していく際に自分たちで意識することだと思う。」

事務局高橋専門調査員「委員長が説明したとおりだが、たとえば具体的にはテーマ候補の23の小学生の通学路の安全確保は、私は外国人市民代表者会議のテーマとしてどうだろうと思う。問題意識には共感できる部分もあるが、これは代表者会議の提言として、つまり川崎市に住むすべての外国人市民の代表としてみなさんが要望するようなものなのかという疑問だ。実現できないと言いたいわけではなく、必要だと思う人が各学校のPTA活動の中で提案していくものだと思う。」

スタント委員長「それでは、ここからは25個のテーマを3つのグループに分けて、それぞれ5分を目安に質問や補足説明をする時間としたい。まずは、1から8までのテーマで何かあるか。」

ウラコリ委員「質問だが、英語以外の言語の外国人も増えているが、11期の提言のオリエンテーションではそのあたりはどうなっているのか。」

スタント委員長「オリエンテーションの提言の中では、英語だけではなくなるべく母語で実施して欲しいとしている。それでもすべての言語に対応することは

きないので、『やさしい日本語』でも実施して欲しいとした。」

ウエーヴィタ委員「情報提供というテーマは毎回挙がっているようだが、私としては情報にたどりつくためのルートをつくって欲しい。それと、建設現場などで結構ベトナムの人たちが働いているのだが、現場では通訳ソフトを使ったりする。ITを導入するのも有効だと思う。」

スタント委員長「そろそろ時間なので次に行きたい。9から16までで質問や補足はあるか。」

アリ委員「観光客向けの情報の取組は、不十分ではないかと思う。」

ウラコワ委員「観光客向けの情報も大事だが、この会議としては基本的には川崎市に住んでいる人たちの課題を取り上げるべきなのではないかと思う。それと、個人的に関心があるのは12の就労で、本人が望む仕事に就くための支援に大きな課題があると思っている。」

寺田委員「私も就労に興味があるが、留学で日本に来たので大学で説明会などがあった。でも、結婚などで日本に来た人は何もわからないかもしれない。」

前田副委員長「同じく就労だが、資料にある厚生労働省の情報などは知らない人が多いと思う。それと、14の外国語学校だが、これは市ができることではないと思う。」

スタント委員長「では、次に行く。17から25までで何かあるか。」

ウラコワ委員「多文化理解や多文化共存というテーマにとっても関心がある。自分たちの文化を日本の中で共存させようとしているコミュニティの活動などを支援してもらえるとよい。たとえば、活動するための場所を貸してくれたりするといった支援だ。」

児玉委員「大学生のころに、いろいろな国の留学生が近くの幼稚園や小学校、中学校、高校などを訪問するという活動をやっていた。この代表者会議でも学校訪問などの企画ができるとよい。」

ウエーヴィタ委員「私も浜松市で似たような活動をしていた。とてもよい取組だと思う。」

児玉委員「事務局に聞きたいのだが、そういったことはできそうか。」

事務局高橋専門調査員「提言としてではなく、みなさんが活動としてやりたいということであれば、今の時点でできないということはない。まずは、みなさんが何をしたいのかを明確にして、そのうえで教育委員会か学校に相談して、ぜひ来て欲しいということになればできると思う。」

スタント委員長「それでは、質問と補足はここまでとして、10分間の休憩を挟んで多数決でテーマを絞りたい。」

(休憩)

スタント委員長「それでは、再開する。1人につき3回まで手を挙げるということにしたい。」

児玉委員「3つしか選べないということか。」

ウェーヴィタ委員「最終的に6つに絞るのだから、6回にしたらよいのではないかなぜ3回なのか。」

スタント委員長「6つに絞っても、結局、1つの部会で扱えるテーマは3つだ。事務局から補足はあるか。」

事務局高橋専門調査員「結論から言うと、3つでも6つでも何か大きな問題があるわけではないので、ここで時間をかけるのはもったいない。それはみなさんで決めて欲しい。ただ、案として3つにした理由は、みなさんの中でのテーマの優先順位をある程度絞って欲しいからだ。というのも、6つに絞った後に2つの部会に分けて、どちらの部会に入るか考えなければならない。関心が大きいままだと、部会を選ぶのに時間がかかってしまうと考えたからだ。」

スタント委員長「それでは多数決で決めたい。3回に賛成の人は手を挙げてください。(15人) 過半数なので3回にする。それでは、順番に読み上げるので、1人につき3回まで手を挙げてください。」

- 1 相談・情報 …… 5人
- 2 外国人の受け入れ体制の整備 …… 0人
- 3 日本の法律に関するアドバイス …… 0人
- 4 ホームページの充実 …… 2人
- 5 ウェルカムセットの見直し …… 0人
- 6 年金、税金、健康保険 …… 2人
- 7 医療、健康 …… 1人
- 8 介護 …… 1人
- 9 入居差別 …… 2人
- 10 観光客向けの防災情報 …… 8人

- 1 1 川崎市の取組の積極的な広報 . . . 6人
- 1 2 外国人労働者への支援 . . . 9人
- 1 3 国際交流 . . . 0人
- 1 4 英語以外の外国語学校 . . . 1人
- 1 5 日本語学習、日本語教室 . . . 0人
- 1 6 地域参加、交流、ボランティア活動への参加 . . . 5人
- 1 7 多文化・国際理解教育（主に学校） . . . 5人
- 1 8 ハーフの子どもの子育て . . . 3人
- 1 9 子育てガイドブックの多言語化 . . . 2人
- 2 0 子育て支援（保育園・幼稚園） . . . 4人
- 2 1 外国人向けの保育園 . . . 0人
- 2 2 保育園、小学校、中学校への通訳の配置 . . . 0人
- 2 3 小学生の通学路の安全確保 . . . 0人
- 2 4 進路支援 . . . 0人
- 2 5 学校での子どもへの日本語支援 . . . 5人

スタント委員長「事務局から集計結果の報告をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「まず、上位の3つが決定した。12、10、11だ。次に、同じ5人で並んだ候補が4つある。この中から3つを選んで欲しい。候補は、1、16、17、25だ。」

スタント委員長「手を挙げるのは、1人につき3回までということでしょうか。（異議なし）では、読み上げるので手を挙げてください。」

- 1 相談・情報 . . . 16人
- 1 6 地域参加、交流、ボランティア活動への参加 . . . 9人
- 1 7 多文化・国際理解教育（主に学校） . . . 11人
- 2 5 学校での子どもへの日本語支援 . . . 14人

事務局高橋専門調査員「結果の報告をする。多い順に1、25、17、16となった。」

スタント委員長「では、これで6つのテーマが決まった。次は、どうやって2つに分けるかだが、事務局とたたき台の案を考えたいので5分間の休憩とする。」

(休憩)

スタント委員長「それでは、再開する。事務局と相談した案を示したい。1、10、11を1つのグループ、12、17、25をもう1つのグループにするのがよいのではないか。理由は1と11は同じ情報という括りで関連性が高い。17と25も、学校・子どもということで関連性が高い。残りは10と12だが、どちらかという10が情報に近いので、1、10、11の組み合わせ、12、17、25の組み合わせとした。何か質問や意見はあるか。(なし)意見はないようだが、時間も迫ってきたので、今日はここまでとする。

次は実行委員会報告だ。まずは、市民祭り実行委員会からお願いする。」

アリ委員「みなさん、インターナショナル・フェスティバルはお疲れさまでした。

本当に盛り上がったと思う。次のイベントは多文化フェスタさいわいだ。内容は、基本的にはインターナショナル・フェスティバルと同じにする。ただ、多文化フェスタさいわいの実行委員会からカフェに協力して欲しいという依頼が来ているので、それにも協力したい。それでは、参加者の確認をする。

(参加者の確認) 当日の詳しい情報は事務局からメールが届くので、確認をお願いする。」

スタント委員長「続いて、ニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

ロベス委員「No. 63はもうホームページに載っているそうなので、ぜひご覧ください。次のニューズレターは、来年の1月くらいに出る予定だ。内容としては、カインさんがインターナショナル・フェスティバルの感想、寺田さんが日本での就職活動と仕事での経験、私が病児保育について書くことになった。」

スタント委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・市内視察について

スタント委員長「以上で今日の会議は終了だ。次回は10月14日、日曜日、午後2時から国際交流センターで開催する。これで2018年度第2回第2日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」